The Comet

The Newsletter of K. International School Tokyo

Volume 24 | Issue 2 | December 2020

今号では・・・

▶02...緊急連絡システム
▶03...スタッフ研修
▶04...みんなの言語
▶04...スクールカレンダー2021–22
▶07...K1アイスクリーム工作
▶08...G5が国連のSGDsについて考える
▶09...小児がん募金
▶14...学習奨学金
▶15...アートパラ深川
▶16...G11 Day Camp
▶17...南アフリカ：金利チャレンジ
▶18...Design@KIST

> 「変化は全ての本物の学びの最終結果である」
> —Leo Buscalglia

学校長より

教師は、生徒たちが課題を終える事ができない場面に遭遇することがあります。課題を終えられなかった理由についての生徒の説明は、釈然としないものもあれば時には面白いもの、そしてもっと追及する必要があるものもあります。最近のワシントンポストの記事によると、生徒たちが勉強に苦労する理由の一つは、単純に勉強の仕方を知らないからだそうです。James Patterson氏の「*Many students don't know how to study, here's how parents can help*（多くの生徒は勉強の仕方を知らない：保護者のサポート方法について教えます。）」の記事では、生徒たちに学習する習慣や能力が足りないこと、効果がない学習方法に頼りすぎていることを指摘しています。

また同じ記事でPatterson氏は、いくつかの有名な学習方法は従来考えられていたより効果的でなく、一方上手く使えば他にも効果がある方法もあると述べています。専門家のアドヴァイスを基に、生徒がより効果的に学習することを助ける以下の5つの戦略を説明しています。

1. 設定する

宿題をやる時間を決め、ルーティーン化させること。お子さんの効率的な学習習慣を作るためには、適切な場所と集中できる環境も大切です。生徒によっては、学習する場所を変化させることでより良く学ぶことができるという研究結果もあり、保護者はそれぞれの子どもにとって最も相応しい学習環境を提供するべきです。

2. 間隔を開ける

課題に取り組み、休憩し、また再度同じ課題に取り組むこと。著者によると、一時間、週に3回課題に取り組む生徒は、夜に一気に3時間課題に取り組む生徒より、学ぶ情報量が多いそうです。

3. 混合する

一つの学習時間中に様々な能力を磨くこと。一つの学習時間に様々なトピックや方法が含まれる時、生徒はよりよく問題の種類を識別し、それぞれに最適な方式を選択することができます。

次のページに続く

重要な日程

2020年12月

11 (K3-G5) LEAP classes end
11 (K1-G3) After care not available on this day
14-16 (G9-G11) Semester 1 examinations
17 Winter celebration rehearsals
18 Winter celebration (virtual format)
18 (K1-G3) After care not available on this day
19-Jan 10 Winter vacation
21-22 Office open

2021年1月

11 School resumes for all students
11 2021-2022 enrollment applications close
11-18 (G12) Semester 1 DP mock examinations
14 (G5) PYP exhibition explanation session
22 (G6-G10) Mathematics diagnostic testing (*Morning)
22 End of semester 1
22 (S) Half day for Secondary students
25 Semester 2 commences
25 (K3-G5) Semester 2 LEAP classes begin this week
25/26/28/29 2021-2022 enrollment interviews
27 Japanese New Year Party (*Tentative)
29 (K1/K2/K3) School holiday (for students)

PYP | MYP | DP

WE ARE A CIS ACCREDITED SCHOOL

前ページの続き

4. 思い出す

生徒が学んだことを、自分自身あるいは他の人から質問されること。簡単な質問でも、生徒は「何を分かっているのかを分かる」ことができ、まだ知らないことを発見することができます。

5. 深める

他の人に教えられるくらい深く学ぶこと。「最もよく学ぶ方法は、教えること」とよく言われます。生徒は普段課題について、深いレベルでの学習より、すぐ思い出せるように事実を集めるだけのことが多いです。誰かに教えることは、課題に対して長期的な理解を高める能力を持つこと、そしてその課題に対してより深い知識を深めることに繋がります。

毎日の生活は忙しいものですし、生徒が課題をしっかりと終わらせられないこともあります。ただこの記事から言えることは、安定した学習習慣は子供たちの勉強時間をより効率的で生産的なものにするということです。子供たちがより効率的で生産的に学習できれば、よりその過程を楽しむことができ、自分がやりたい他の活動をする時間を確保することもできます。

冬休みが近づいています。素敵な休暇をお過ごしください！今年は母国へ戻ることができない人がほとんどだとは思いますが、この素晴らしい学校コミュニティーのメンバーであること、また素敵な日本という国に住んでいることを幸せに思います。楽しい休暇とよいお年を！

Kevin Yoshihara Ed.D.
Head of School/
Elementary School Principal

緊急連絡システム

学校からの一般的な案内や通知（クラス活動、遠足、親のワークショップ、健康警告、KIST保護者会（CA）の会議議事録など）は、E-Communicationsを通じて配信されます。配信された過去の内容は、以下のリンクのKISTnetでアクセスできます（ログインが必要です）。

Web E-Communications 2020–21 Archive

学校からの一般的な案内や通知以外の緊急性のある連絡（悪天候や、伝染性のある疾病による、学校/学年/クラスの緊急閉鎖の通知等）は、E-Communicationsではなく、**緊急連絡システム（ECS）**から配信されます。

このECSシステムは、KISTの保護者メールアドレスの他、最大4つまでの個人メールアドレスを登録して、学校から緊急通知をタイムリーに受信することができます。学校は各自で設定した個人用メールアドレスを更新することができないため、ECSに登録している個人用メールアドレスを変更するのは保護者の責任となります。**個人用メールアドレスが正しく登録されていないと緊急時に学校から重要な情報を受け取れない可能性があります。**登録されている個人用メールアドレスを変更されたい方はご自身で変更してください。

ECSログインページには、学校のウェブサイト「Community」のポータルから（以下のリンク）アクセスできます（ログインが必要です）。日英両言語の説明ガイドもご利用下さい。

Web https://www.kist.ed.jp/user

ECSへのアクセスについてご質問がある場合は、ITサポートチーム（**it.support@kist.ed.jp**）にお問い合わせください。

スタッフ研修

スタッフがDP受験しました！

KISTは学業面の成功を重視しており、K1からG12までのスタッフは、一丸となって生徒をサポートすることの大切さを理解しています。生徒がIBディプロマプログラムの準備をするうえで、成功するために何を知る必要があり、何ができるのかを私たちが理解することはとても大切です。

Stephen Covey氏の著作『7つの習慣』で、提示されている7つの習慣のうちの1つは、「終わりを思い描くことから始める」です。そこで先日10月24日（土）に、多くのエレメンタリークラス担任、日本語教員、ELSインストラクターたちが、ある珍しい研修に参加しました。

その研修はセカンダリーの英語教科コーディネーターであるMr. Steve Otisによるもので、エレメンタリースタッフが過去のDPの英語または日本語試験について学び、実際に受験しました。生徒が成功するために必要な能力を理解することで、スタッフは共通の目標に向かってさらに前進し、その目標を達成するための方法を思考することができるでしょう。

スタッフの感想を紹介します。

「英文学を専攻していた者として、今回の研修はとても楽しいものでした。普段K1で教えているので、生徒が目指し、取り組んでいるものを深く知ることができたのは良い経験でした。」
—Ms. Emma (K1 teacher)

「Mr. Otisは自分の教えている科目についてものすごい知識を持っており、素晴らしい話を聞くことができました。彼は英語試験の面白さを引き出していました。生徒が成果を出せるようにするためにDP教員が持っている情熱と献身さについて、実感することができました。」
—Ms. Millican (G3 teacher)

「エレメンタリーで生徒と日々積み重ねている小さなことが、最終的にどのように使われるのかを知ることができたのは、驚くべき経験でした。」
—Ms. Christie (G1 teacher)

「今回の研修に参加したことで、とっくの昔に忘れていたことを思い出しました。教師として生徒に課していることが、時には本当に難しいことだということを思い出させてくれました！PDを受験したことで、学習の方法（ATLs）やその他の能力が、生徒の成功に非常に重要な要素であることを確認することができました。」
—Ms. Aya (G2 teacher)

みんなの言語

言語は人々を、時には結び付け、時には切り離す。

ケイ・インターナショナルスクール東京がIBスクールであることは、秘密でも何でもありません。これはすべてのIBスクールが、学習者、教員や保護者の関係づくりを脅かすような障壁をなくすため、「国際的視野」として知られる概念に重きを置いていることが秘密ではないことと同じです。

インターナショナルスクールは、いつも純粋なユートピアの夢として叶うとは限らない、様々な言語、文化や歴史、民族の背景や経験で成り立つ世界中の市民の集まりだと定義されています。

エレメンタリースクールにおいて、英語以外の言語で楽しそうに話している生徒のグループを、時々見かけることがあります。その言語を理解しない人の前で、自分の母国語で友人と話すことは、排除と同じ効果があります。つまり、その言語を話せない人は締め出され、無視されるように感じ、さらにはその言語を使っている人の意図を疑問に思うでしょう。

IBでは、赤ちゃんの時から育っていく過程で、それぞれの家庭で共有されてきた最初の言語である「母国語」の大切さを説明しています。母国語は世界を理解するための基本を教えてくれますし、学びを続けていく中で、新しい語彙の見方も決めていきます。また、新しく学ぶ言語の理解や推測にも影響を与えます。

母国語は確かに大切ですが、多様な「考える人」のいるコミュニティーを作っていくためには、学校として、コミュニケーションとアイディアを共有することがより大切だと考えています。この場合、英語が他の言語より大事だという印象を与えうるリスクがある、管理者として矛盾する指示を出さなければならないことに気づくこともあります。コミュニティーのために、学校で時々聞かれる通り、生徒には「英語で話しましょう」というお願いをしています。

KISTでは、英語には2つの役割があると考えています。1つは、私たちが指示する言語としての役割です。すべての授業は英語で教えられ、すべての教室内での議論や教員の指示は英語で行われます。次に、英語が私たちにとって「みんなの言語」という役割です。私たちみんなが共通の言語を話す時、目標を達成し、友情をより強くし、問題を解決し、お互いが楽しむことを通じて、関係を築いていくことができます。そうして最終的に私たちは、他者への思いやりとお互いのちがいを受け入れることが必要な、国際社会の一部となることができるのです。

> 多様性とは、私たち皆が共通に持っている一つの真実です。日々このことを大切にしましょう。」
> —作者不詳

Clay M. Bradley
Elementary School Vice Principal

スクールカレンダー2021-22

ご家族の旅行、特に海外への旅行計画などの利便性を考え、2021–22年度の長期休暇や重要な行事日程を以下に記載します。

ご家族には、生徒が休み明けに必ず登校できるよう日程をご確認の上、旅行等の計画を立てて頂けますようにお願いいたします。**カレンダーの完全版は6月に配布されます**

- **新学年度生徒始業日:**
  2021年8月23日
- **学校全体イベント*:**
  2021年10月23日
- **秋期休暇:**
  2021年10月24日～31日
- **冬期休暇:**
  2021年12月18日～2022年1月9日
  （生徒の新年度の始業日は2022年1月10日です）
- **春期休暇:**
  2022年3月26日～4月3日
- **ゴールデンウィーク休暇:**
  2022年4月30日～5月8日
- **生徒の最終登校日:**
  2022年6月15日

*新校舎工事のため、KISTivalは2021–22年に開催されません。その代わり、学校全体のための他のイベントが開催される予定です。詳細については、後ほどお知らせいたします。

PYPニュース

行動を起こしましょう！

最近、国連の持続可能な開発目標（SDGs）が日本で広く宣伝されていることに気付かれている方もいらっしゃるかと思いますが、今年のGrade 5もPYPエキシビションに向けて、SDGsに注目しています。今年になってSDGsをよく見聞きするようになった理由は、2020年が、**17個のSDGs**の達成期日としている2030年に向けての**行動の10年**の始まりであるからです。

KISTでは生徒が、国際社会に意義のある貢献をすることのできる、思いやりのある若者となることが期待されています。ですから、カリキュラムの中で最も大切な側面の一つは、「行動」を起こすように勇気づけることです。何かひらめいた時であっても行動を起こそうとすることは、まるで壮大なことのように手ごわく感じるかもしれませんが、実際にはそんなことはないのです。

KISTで学習している間に、生徒たちは多くの素晴らしい、勇気づけられるような、勇敢で思いやりのある話を読んだり聞いたりします。ガンジー、マザー・テレサ、グレタ・トゥーンベリのような偉大な人々のストーリーから、生徒たちは国際的なものの見方や、地球を共有している他者への思いやりを発展させることでしょう。

過去にあった「行動を起こした」例は、寂しく感じている生徒を助けるために作った友情のベンチ、学校の堆肥づくり、そして最近では、G5の生徒がが小児がん寄付のために、レモネードスタンドを設置しました。行動を起こした生徒たちの頑張りは素晴らしいものですが、どんな小さなものでも行動を起こすことに意味があります。

友情のベンチ

G5A Erikaのレモネードスタンド。詳しくは、10ページをお読みください。

IBでは、行動を5つのカテゴリーに分けています。

- **参加:** 個人あるいはグループとして貢献する
- **支持:** 社会的、環境的、政治的変化を支援する行動
- **社会的正義:** 人権、平等と公平との関係、社会的福祉や正義
- **起業家精神:** 革新的、資源豊富で持続可能な社会の変革
- **日常の選択:** 例: 消費、選択の影響

このリストを見て、環境クラブに参加する、問題を学んでそれについて友人に話す、部屋を出る時は電気を消す、食べ残しをしない、紙の使用を減らす、といった簡単なことも、誰にでもできる行動の素晴らしい一例だということが分かるかと思います。

どのように助けられますか？

行動の大きさに関わらず、私たちは生徒たちをとても誇りに思います。今後国際社会の一員として成長していく中で、学校外で行動を起こす方法はたくさんあります。お子さんが周囲にとってポジティブな影響を与える行動を取った際には、褒めることを忘れないでください。そして、それらの行動を自分たちの先生にも共有するように勧めてください。また、行動を最後までやり切ることを良い見本として、一度きりではなくその行動を生活の一部にしてしまうこともできます。

生徒—お子さん—は、行動に関する素晴らしいアイディアを持っています。ほんの少しの助言と勇気づけで、私たちは誰もが世界を変えることができるのです。

Oliver Sullivan
PYP Coordinator

幼児教育ニュース

KIST Familyの皆様こんにちは。今年も最後の月になりました。日に日に寒さも厳しくなってきていますね。

今年は2月からCOVID-19の影響が出はじめ、3月からDistance Learningが始まりました。今年度に入ってからも、例年のような学校生活を送ることはできませんでした。そのような中でもKIST Family皆様のご協力のもと、子ども達と学校生活を送ってくることができましたこと、本当に感謝いたします。

Kinderでは子ども達と少しでも楽しいイベントを行えたらと、10月の秋休みの前にAutumn FestivalをK1からK3クラスで行いました。

教員たちはFestivalに備え、各教室を一晩で模様替えしそして当日は、朝から子ども達のケラケラ、クスクスと思い思いの衣装を見合っての笑い声が絶えませんでした。それぞれのクラスで異なる活動を考え、学校の安全対策を頭に入れながら、1時間目と2時間目という限られた時間ではありましたが、子ども達と楽しく過ごすことができました。

秋休み前のあわただしい時期にかかわらず、子ども達のために準備に当たり、当日の活動をスムーズにこなしてくれたECEのチームを誇らしく思います。

来週末からは冬休みが始まります。今年の冬休みはいつもとは少し違った休みになりそうですが、お家の中で、言葉遊びをしたり、家族とゲームを楽しんだり、工夫を凝らしながら楽しく過ごせますように。
年明けに元気な子ども達に会えることを楽しみにしています。

Eri Ozawa
Early Childhood Coordinator (K1—K3)/
K1B Teacher

K1A

K1B

K2A

K2B

K3A

K3B

K1アイスクリーム工作

5つ盛りをください！

K1では1から10の数を学んでおり、今学期は、その中でも特に1から5の数に注目しています。数えるものと同じ数を、サイコロを振って一致させるなどのゲームを行っています。他にも、教室内、園庭、校舎の周りで数字を使った「借り物競争」の遊びもしています。

またその他の活動の一つとして、アイスクリーム工作もしました。生徒たちはアイスクリームを食べるのが大好きで、アイスクリームの数を数える歌を聴いた後、5個のアイスクリームを使って自分たちの分を作ることにしました。まず5本のコーンを貼り、その後アイスクリームを載せていきます：1つ盛り、2つ盛り、3つ盛り、4つ盛り、そして5つ盛りです。なかなか難しい作業でしたが、それぞれのコーンに同じ色を選ぶ生徒もいれば、異なる色を選ぶ生徒もいました。アイスクリームの数に合わせて、1から5の数を真似しようとしていました。また「階段みたいだね。」「美味しそう！」と言っている生徒もいました。

あなたは何個盛りのアイスクリームを食べたいですか？

Claire Yoneyama
K1A Teacher

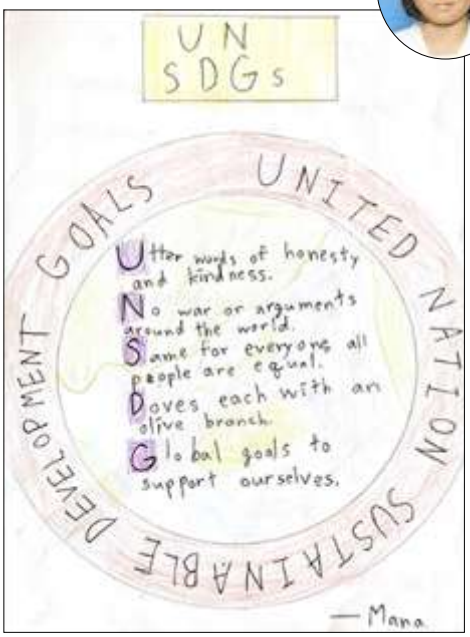
G5生徒が国連のSGDsについて考える

今学期、Grade 5生徒は国連の持続可能な開発目標（UN SGDs）を通して、様々で複雑な問題とそれらがどのように関連しているのかについての理解を深めています。

また、この目標が批准されてから5年を記念する、オランダ大使館での旗の掲揚イベントに参加したことは、生徒たちの興味をさらにかき立てました。

あいにくの天気ではありましたが、生徒たちはUN SDGの旗を掲揚し、大使館の職員と全権大使にまで会って話すことができました！

その後生徒は、この行事とSDGsの調査を振り返って詩を書きました。G5B生徒**Mana**の心温まる詩をお読みください。



Bethan Thomas
G5B Teacher

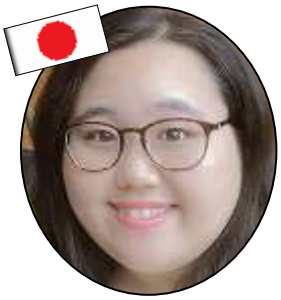
オランダ大使館に到着

旗の掲揚

ニューフェイス

前回の*The Comet* 発行後にKIPSのプリスクールアシスタントとして、新しいスタッフ**Luca Nagaoka**が加わりました。Ms. Nagaokaは、P0、P1、P2の様々なアクティビティーをサポートし、KIPSオフィスのアドミニ補佐も務めます。

学校コミュニティを代表し、Ms. Nagaokaの新しい役割での成功を祈っています。



Luca Nagaoka
Preschool Assistant

小児がん募金

G5の生徒が、子どもたちを助ける行動を起こしました

コロナ感染が拡大していく中で、癌が私たちにとって、また愛する人々にとって、どれだけ深刻な問題であるかということを認識し始めました。そして、「子どもも癌にかかるのだろうか？」という疑問がしばらく自分の中で渦巻いていました。もし同じことを疑問に思っている方がいらっしゃったら、答えは**イエス**です。

> 子どもは癌にかかるの？
> ･･･答えは、**イエス**。」

まだ人生が始まったばかりの子どもたちが、より良い人生を送ることができるように助けたい。世界の中には、大変な思いをしている子どもたちがいるのだと考えるともどかしく、何か行動を起こさなければと思いました。これがこの問題に対する人々の認識を高め、募金活動を行おうと思った理由です。

私たちは**lemonadestand-pa.jp**というサイトを見つけました。この団体は、レモネード店イベントの企画を支援し、集まったお金を**日本小児がん研究グループ（JCCG）**に送ってくれます。これは、私と家族が参加できるぴったりな方法だと感じました。JCCGは、専門家を集めて診断を助けたり、小児がんの最先端の治療などを発展している全国的な組織です。

すぐに、たくさんの準備が必要であることに私たちは気づきました。幸い、住んでいるアパートは、9月26日にレモネードスタンドのイベントを開催することを許可してくれました。レモネードスタンドを作ったり色を塗ったりしたのは、とても楽しかったです。その後、レモネードのレシピを探し、イベントのパンフレットのデザインを始めました。Grade 5の先生は、関心を高めるために私がクラスの皆にイベントについて話をするのを許してくれました。

イベント直前には、カップ、食器、そして何よりも大切なレモネードを準備しました。スタンドは当日の朝に設置しました。残念なことに雨が降っていましたが、アパートがガゼボを貸してくださったので、たくさん濡れずにすみました。私たちはフェイスシールドを着用し、お客さんたちがソーシャルディスタンスを保つことができるように、印を付けました。

学校からたくさんの人がこのイベントに参加してくださり、とても嬉しかったですし、参加できなくても寄付をしてくださった人もたくさんいました。地元の人々からの寄付も併せて、合計**61,720円**を集めることができました。皆様のサポートに感謝しています！

このイベントを通して学んだことは、家族や友人からのサポートがとても大切だということです。どれだけたくさん計画しても、最愛の人達からのサポートは本当に心強いものです。

レモネードスタンドを通して小児がんの募金活動をしたい場合、下記のレモネードスタンドのウェブサイトから多くのアドバイスと情報を見つけることができます。

Web **https://www.lemonadestand.jp/**

Erika (G5A)

> Erikaが必要としている人々を助ける行動を起こしたことは素晴らしいです。彼女の努力をとても誇りに思います！KISTのミッションの一つは、国際社会に意義のある貢献をする、思いやりのある若者を育てることです。Erikaの行動は、私たちに勇気を与え、誰もが世界を良い方向に変えることができる力を持っていることを示しています！
>
> Dr. Yoshihara

エレメンタリーELS

比喩表現に取り組む

PYPカリキュラムにおける英語学習者にとって、学ばなければならない語彙は多岐に渡ります。新しい語彙の意味が文字通りであっても十分難しいものですが、比喩的な意味を持つ時、難しさは倍になります。文章中でどれが文字通りの意味を持ち、どれが象徴的な意味を持つのかを見つける最初のステップで、生徒がつまずくこともよくあります。またこれは、生徒の読みものや、教室でクラスメイトとのディスカッション、および教員の説明で聞く際の内容の理解度にも影響を与えます。

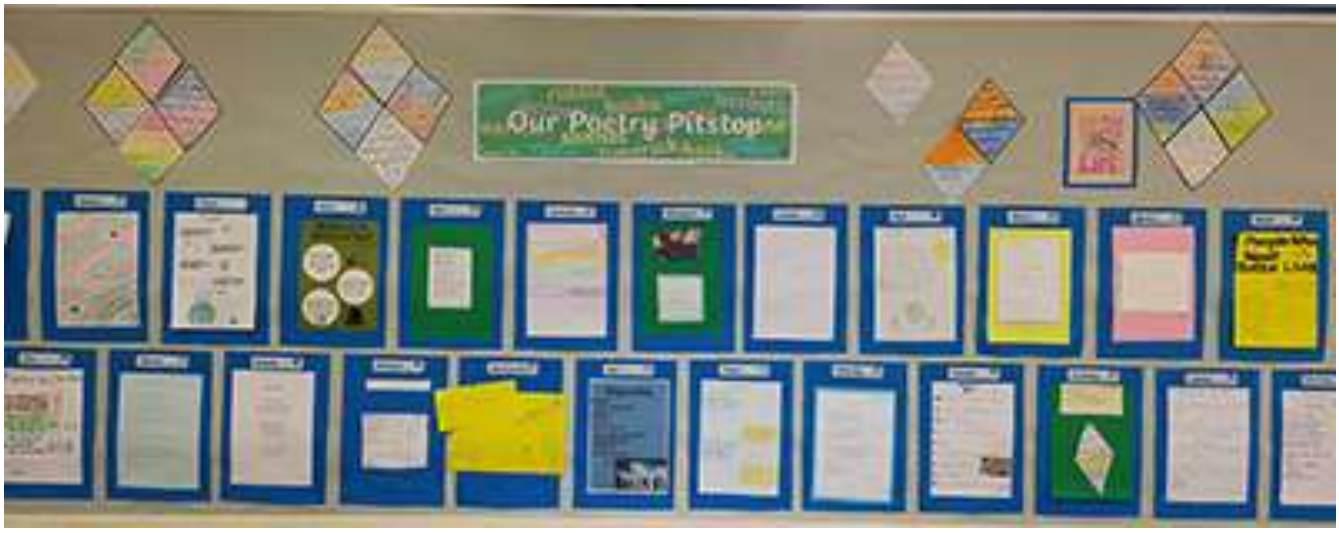
そのため比喩的表現は、通常の文字通りの意味を持つ語彙とは異なる方法で学習する必要があります。学校では、状況に応じたアドバイスや比喩的表現を識別する練習を行い、語彙自体の意味について議論し、象徴する意味を考え（語彙の起源を調べることもあります）、教室内で比喩的表現の色々な例を集め、それをライティングやスピーチで使います。（ところで、比喩的表現を識別する最初のステップとして、漫画は素晴らしいリーディング教材です。なぜなら、文字通りの絵と比喩的語彙の違いが、その語彙が比喩的であるということのヒントになるからです。）

母国語の高い能力は、第二言語の上達を助けるため、ご家庭で話されている言語で比喩的語彙の例について話し合うことは、お子さんが比喩的表現を理解するのにとても役立ちます。漫画、映画、歌の歌詞、好きなことわざなど、文脈の中で使われている比喩的表現は何でも、学びの素晴らしい機会です。

Rachel Parkinson
Elementary ELS Coordinator
rachel.parkinson@kist.ed.jp

G3生徒がお気に入りのリーディング教材：自然と引き寄せられる、比喩的表現を学習するのに役立つたくさんの漫画。左から：G3AのRenとAayan、G3BのTaiga、G3AのYuka、Krishiv、JunyanとNina

G3A生徒Sara（右）、Akiko（中央）、Aayan（左）教室内の物について書いた比喩を共有しています

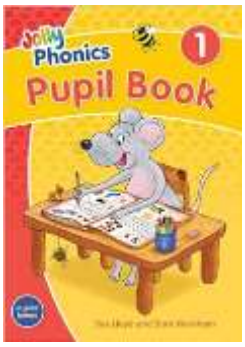


G5AのPoetry Pitstop：詩を書くのは、比喩的表現を練習する良い機会です

LEAPニュース

本年度のLEAPコースは、生徒たちそれぞれの必要性に、より見合ったものとするべくため、いくつかの変更点がありました。英語と算数のコースに分かれているのには変わりありませんが、LEAP発展コースは廃止となりました。最も大きな変化は、K3とG1のコースに**教科書を導入**したこと、K3～G5対象の**口頭コミュニケーションコース**を新しく設置したこと、そして**クラスの人数および申し込み方法**です。

教科書



K3では、フォニックスに集中した2つのコースがあります。KISTでは生徒のリーディング能力の向上のために、K2でJolly Phonicsプログラムを採用していますが、K3で復習が少し必要な生徒や、プログラム全体を学ぶ必要のある新しい生徒もいます。このギャップを埋めるため、K2と同じ教科書を使用しほぼ同様の教材を網羅した、Ms. WangとMr. Derekによる、週3または週5のJolly Phonicsコースを設置しています。このコースは、同様のサポートが必要な新しいG1生徒にも提供可能となっています。教科書は学校から提供されるため、コース費用に含まれています。

口頭コミュニケーションコース

生徒の中には、特に家庭であまり英語を話す機会のない場合、英語でのコミュニケーションを難しく感じている人もいます。KISTでは、生徒ができる限りペアやグループで取り組むことを勧め、また生徒との協同に重きを置いています。これは英語で話す力が足りない生徒、もともと恥ずかしがり屋な生徒や、自分の考えをまとめるのに少し時間を必要とする生徒にとって、とても難しいことかもしれません。そしてまた、自分たちの意見を他に共有する前にグループワークが終わってしまっている、ということもあるかもしれません。

口頭コミュニケーションコースが重視するのは、生徒のこれらの能力を伸ばすことです。それぞれのLEAPクラスは各学年のELSインストラクターによって指導されるため、それぞれの学年の「探求の単元」に合ったトピックで学ぶことができます。生徒は、声に出して話すことへの自信を育み、皆の前で話す技術を向上させ、より多くの時間を使って自分の考えや意見を議論したり共有したりすることで、授業で学習している課題について、もっと理解を深められることでしょう。

クラスの人数と申し込み方法

LEAP受講生徒が、インストラクターとの時間をより多く確保するため、すべてのLEAPクラスの定員を**6名**としています。セメスター1は申し込みが非常に多かったため、セメスター2より申し込み方法を少し変更いたします。次回以降は下記の3段階で申し込み募集をさせていただきます。

ステージ1 – クラス担任が、各学年につき6名の生徒を推薦し、推薦された生徒の保護者には、その旨と申し込み期限が通知される。

ステージ2 – 最初の申し込み期限が過ぎた後、空きがあるLEAPクラスを埋めるためにクラス担任はさらに生徒を推薦し、推薦された生徒の保護者には、その旨と第二回申し込み期限が通知される。

ステージ3 – LEAPアドミニチームが、推薦を受けずに申し込みをした生徒の中から優先するべき生徒を、空きがあるLEAPクラスに登録する。申し込みをしたすべてのご家族に、お子さんがLEAPクラスに登録されたかどうかについての通知が送られる。

今回たくさんの申し込みがあったのは、私たちのLEAPインストラクターが素晴らしいということの証だと思います。推薦を受けていなくてもLEAPに申し込むことはできますが、すべてのお子さんをLEAPに登録することができるわけではないことを、ご理解いただけますと幸いです。

質問のある方は、LEAPチーム**leap@kist.ed.jp**にご連絡いただくか、LEAPホームページをご確認ください。

Web **https://www.kist.ed.jp/node/1128**

Oliver Sullivan
PYP Coordinator

LEAP
• Learning
• Enhancement
• Academic
• Program

KIPSニュース

From the P1 classroom...

時間が経つのは早いですね。すでに年度のほぼ中間地点に到達しようとしています。P0とP1の子供たちは、この数か月間でとても成長しました。8月にほとんど自力で移動できなかったP0の子供たちは、ある場所から別の場所へと教室内を探索しながら、ハイハイしています。一方、P1は以前より自立し、おもちゃを片付け、靴下を自分で脱ぐことができるようになりました。

最近では、今年の最初のイベントであるハロウィーンパーティーを開催しました。この日は雨でしたが、子供たちはかわいい衣装を着て、ゲームを楽しんだり、ハロウィーンの歌を一緒に歌ったり、トリックオアトリートを楽しみました。彼らはまた、お互いを怖がらせようと、体を動かしたり、様々なハロウィーンのキャラクターになり色々な音を出したりすることを楽しんでいるようでした。一日の終わりに、子供たちはおやつを受け取り、家に持ち帰り、家族と楽しみました。

世界のこの厳しい状況にもかかわらず、パンデミックを心配することなく、子供たちがお友達や先生と楽しむことができたことを嬉しく思います。また、このイベントを成功させ、子どもたちの日をより特別なものにするために寛大にもボランティアをして下さったコミュニティのメンバーにも感謝しています。

Ma. Cielito Bautista
P0–P1 Teacher

From the P2 classroom...

新年度が始まり4か月が過ぎ、2020年も残り2週間となりました。

P2の新入園児の子ども達もすっかりKIPSに慣れた様子で、新しいことにチャレンジ、体験しながら毎日楽しんで過ごしています。

10月イベントのハロウィーンでは様々なことを体験しました。数週間前から練習していたハロウィーンの歌とダンスをコスチュームを着て踊り、歌って皆で楽しみました。KIPS周辺のお店に行き、「Trick or treating」をしに行きました。それぞれの場所では少し恥ずかしながらも大きな声で「Trick or treat!」と言えることが出来き、嬉しそうに目を輝かせながらお菓子や大きなハロウィーンのシールを貰って年一度のハロウィーンパーティを楽しんでいました。

段々と寒さが増し、コロナウイルス感染予防に加えインフルエンザ予防も必要になってきます。今年の冬はいつも以上に体調管理に気を付けて楽しい冬を過ごせるようにしましょう。

Sohta Ohashi
P2 Teacher

MYPニュース

MYP学習のための評価：新入生・転入生とその保護者のためのMYPガイド

MYPでの生徒の体験は豊かで幅広いものです。生徒は8つの教科で知識と理解を深める探求を行い、年間を通してその達成度の評価が行われます。保護者の皆さんもこれまでにお子さんに関する公式、非公式の複数のフィードバック・評価を受け取られていると思います。この評価にはQuarter 1 Report（四半期レポート）と先日行われた三者面談も含まれます。

MYPでの学習を始めるお子さんを持つ保護者の方にとって、MYPの評価はなかなか理解しづらいものかもしれません。通常ですと、新年度にMYP新・転入生の保護者の皆さんを対象に、MYP特有の事柄や評価について体験型のワークショップを開催するのですが、COVID-19の感染予防対策と、それに伴う規制によって今年は延期せざるを得ませんでした。そのため、この紙面上でMYPの評価の中心となる考えについてご説明させていただきます。

Formativeとsummative assessment（形成的評価と総括的評価）

MYPの各教科は探求単元（UoI）を中心に学習を構成しています。これらの単元では教科内容、スキル、概念を中心に、各教科で生徒が必要とする知識や理解を習得できるように考えられています。

Formative評価には単元理解やスキルの向上に必要な日々の学習などが含まれます。Formative評価では生徒がローリスクな環境で自身の進歩を確認できます。

Summative評価はある程度学習が進んだ段階で行われます。教師は単元終了時の生徒の理解度を測るために、テスト、小論文、プレゼンテーション、レポートなど様々な方法で評価を行います。

MYP評価基準（Criteria）

MYPでは個々の教科で力を入れる分野と、プログラム全体で行う評価との絶妙なバランスを保って構成されています。各教科ごとに4つの評価目標を定めており、これが評価基準（criteria）と呼ばれます。以下が、教科ごとのcriteriaです。

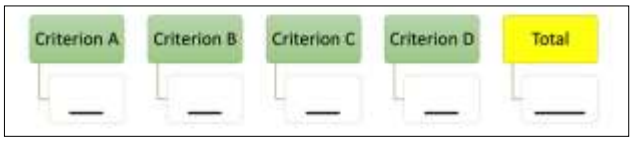
	Criterion A	Criterion B	Criterion C	Criterion D
Individuals and Societies	Knowing and Understanding	Investigating	Communicating	Thinking Critically
Design	Inquiring and Analyzing	Developing Ideas	Thinking Creatively	Responding
Physical and Health Education	Knowing and Understanding	Planning for Performance	Applying and Performing	Reflecting and Improving Performance
Language Acquisition	Comprehending (spoken/visual texts)	Comprehending (written/visual texts)	Communicating	Using Language

各criteriaは最低でも1学期に1回はsummative評価が行われます。1つのcriteriaが学期中複数回評価されることもあります。

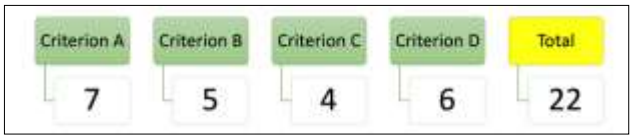
	Criterion A	Criterion B	Criterion C	Criterion D
Arts	Knowing and Understanding	Developing Skills	Thinking Creatively	Responding
Language and Literature	Analyzing	Organizing	Producing Text	Using Language
Sciences	Knowing and Understanding	Inquiring and Designing	Processing and Evaluating	Reflecting on the impacts of Science
Mathematics	Knowing and Understanding	Investigating Patterns	Communicating	Applying Mathematics in Real-World

MYP reporting（成績表）

MYPセメスターレポート（成績表）には各教科の4つの評価目標の基準となるcriteriaが含まれています。各criteriaの点数は1～8点です（8が最高）。そのためすべてのcriteriaの合計は最高で32点です。



例えば、ある生徒がsemester report（criteria）で以下点数を獲得したとします。



このcriteriaの合計点数（22点）がIBの定めた点数表に照らされ、最終成績が算出されます。この点数表はMYPとDPで使用されています。この表を用いて1～7（7が最高）の最終成績に換算されます。

7	28 – 32	7	Excellent
6	24 – 27	6	Very Good
5	19 – 23	5	Good
4	15 – 18	4	Satisfactory
3	10 – 14	3	Mediocre
2	6 – 9	2	Limited
1	1 – 5	1	Very limited

学年度が進むにつれ、保護者の皆さんもお子さんの課題のフィードバック・評価を多く受け取られると思います。成績や評価についてよりご理解いただくことでお子さんのサポートを最大限にしていただけると考えています。

Robert White
MYP Coordinator

学習奨学金

KIST特待生奨学金

KIST Scholars' Awards（KIST特待生奨学金）は特定の基準を満たしたG8～11を対象としています。本奨学金は学業優秀で、生徒にとって模範となる行動をとり、学校のミッションを高いレベルで体現し、コミュニティに顕著な貢献を行う生徒を賞するためのもので、4段階に分かれています。

今年は合計で**9名**がこの奨学金を受賞しました。受賞生、そしてご家族の皆さん、おめでとうございます！

Gold Award
(授業料の75%を免除)
1名

Silver Award
(授業料を半額免除)
2名

Bronze Award
(授業料の25%を免除)
6名

KIST *'Learning for Life'* 大学支援奨学金

KIST *'Learning for Life'* University Scholarships（KIST大学支援奨学金）はDP最終試験で40点以上を獲得し、その他の選考基準を満たしたうえで責任ある行為を示した12年生に贈られるものです。本奨学金は在籍最終学年での生徒の努力を称え、「生涯学習者」として第3次教育へと進む生徒たちを支援するために設けられました。

2020年度の*'Learning for Life'*奨学金受賞者は合計**23名**です。受賞生、そしてご家族の皆さん、おめでとうございます。皆さんの成功と発展をお祈りします！

Silver Award
43-44 points
¥1,000,000
5名

Bronze Award
40-42 points
¥300,000
18名

Web 学習奨学金の詳細と応募方法については以下をクリックしてください。
http://www.kist.ed.jp/node/197

Edexcel IGCSE Mathematics Certificates

前学年度は、G10生とG9 Mathematics Extendedの生徒がEdexcel IGCSE数学試験を受験しました。COVID-19の影響で、これらの試験は例外的に校内で実施されましたが、それでもEdexcelに試験を確認のため送付した結果、生徒たちはこれまで通り、国際的に認知されている数学の公式証書（Certificate）を受け取ることができました。この証書は将来の大学出願の際も役立つものです。

2019–20年度G10 Mathematics Standardクラスの皆さん、IGCSE Mathematic A certificate獲得おめでとう。G10 Mathematics Extendedクラスの皆さん、IGCSE Pure Mathematics certificate獲得おめでとう。そしてG9 Mathematics Extendedクラスの皆さん、IGCSE Mathematics B certificate獲得おめでとう！

John Rose
IGCSE Coordinator/
Secondary School Vice Principal

Mathematics B certificateを獲得した現G10 Mathematics Extendedクラスの生徒

アートパラ深川

これまでの数か月、G6、7、8とG9生は地域の活動であるアートパラ深川のサポートを交代で行ってきました。このプロジェクトの目的は全ての人が調和して生きることのできる「共生社会の実現」です。KIST生はこのプロジェクトで、絵馬に描かれた障害のある子供たちや有名アーティストの作品を、シンボルでもあるお神輿につなぐための組みひも作りのお手伝いをしました。

アートパラ実行委員の方々がKISTにいらっしゃり、組みひもの作り方やプロジェクトのミッションについてお話ししてくださいました。また、作業中、生徒数人に日本式の手話も教えてくださいました。

生徒の心の窓を広げてくださったアートパラ深川の皆さんに感謝します。また、この素晴らしい取り組みがこれからも長く続くことを心から願っています。

以下はこの活動に参加した生徒のコメントです。

Anna Holdaway
Student Care Coordinator (G6–G8)

"私がアートパラ深川でのボランティアを決めたのは、プロジェクトの目指す「共生社会の実現」に心から賛同したためです。深川の近くに住んでいることもあり、地域コミュニティが共生社会を目指していることをとてもうれしく思うとともに、参加者の作品の素晴らしさにも感銘を受けました。ボランティアスタッフとして作品について説明していると、来場者の方がより作品に関心を持って下さるのを感じられました。と同時に、より多くの方の障害や共生への意識を変えることができると感じました。このイベント終了後もコミュニティが多様性を受け入れ、共生できる場であり続けることを願っています。」

—**Sara** (G10A)、アートパラ実行委員会でのボランティア活動に参加

"みんなと組みひもを作るのが楽しかった！アートパラのお手伝いができてよかったです！」
—**Yuma** (G6A)

"アートパラが障害を持った人への理解の手助けになっていることが素晴らしいと思いました。とても大切な問題であるこの取り組みに参加できてよかったです。」
—**Uta** (G6B)

"絵馬をお神輿につなぐ組みひもを作ることでコミュニティのお手伝いができてよかったです。最初は難しかったけれど、組みひもつくりは楽しかったです。」
—**Halona** (G6B)

"障害のある人たちのお手伝いができると思うとうれしかったです。多くの人の目に触れるものをクラスメイトと協力して作れたのもよかったと思います。実際にお神輿や、絵馬に書かれた障害者の方の作品を見にも行きました。」
—**Rena** (G6B)

G11 Day Camp

G11が冒険を求めて千葉県へ

G11 CampはDP 1年目のハイライトでした。コロナウィルス感染症の影響でG11 Campはフォレストアドベンチャー千葉への日帰り遠足に変更となりました。この日帰り遠足では協調やチームワークが必要な活動を多く行いました。例えば、みんなが手をつないで輪になったなか、フラフープを通したり、目隠しをした仲間を声だけで誘導したり、などです。

この日帰り遠足は9月11に実施されました。夏の暑さは少し和らいでいたものの、9月にしてはまだ暑い一日でした。学校からはバスに乗り、45分ほどでフォレストアドベンチャーに到着しました。一歩外に出ると、目に入るのは自然だけでした。セミが鳴き、赤とんぼが優雅に飛ぶ別世界です。このような自然を目にするのは私たちの多くにとって久しぶりのことでした。

フォレストアドベンチャー千葉の施設に到着するとスタッフの皆さんが歓迎してくださいました。ウォームアップとicebreakerの後、2グループに分かれてそれぞれ異なる活動を開始しました。最初はみんなが輪になり手をつないだ状態でフラフープを通すもの。真ん中に立った1名が素早くフラフープを通すため、全員が連携する必要がありました。これには1つのグループが圧倒的な強さを発揮し、他のグループに大差をつけて勝利しました。次に、50マスあるシートの上を正しいルートで歩ききるゲームで、これには正しい道筋を記憶し、他の生徒を誘導するためのコミュニケーション能力が問われました。回が進むたびにどんどんルートが複雑になっていきました。

全ての活動が終わると昼食の時間で、その後はフォレストアドベンチャー千葉の主要施設であるアスレチックコースを体験しました。コースは5つ以上あり、この中にはハーネスをつけてかなりの高さから飛び降りる特別コースもありました。すべてのコースがとても楽しく、コロナウィルスやその他のストレスを一時忘れ、気分を盛り上げてくれるものでした。

全ての活動が私たちが何らかの形で成長することを助けてくれるもので、ストレスを軽減させ、DPで成功するためのコミュニケーション能力やチームワークを向上させてくれるものでした。フォレストアドベンチャー千葉への日帰り遠足は間違いなく、DPへの旅路において思い出に残る一歩となると確信しています。

Shiro (G11B)

南アフリカ：金利チャレンジ

G12経済を選択している生徒は、南アフリカの経済を分析し、南アフリカ準備銀行、South African Reserve Bank（SARB）の金融政策委員会（MPC）メンバーとして国の金利について提言することを求められました。提言にあたって、生徒は以下を考慮しなければなりません。

- 中央銀行が金利を上げるべきとする根拠は？
- 中央銀行が金利を下げるべきとする根拠は？
- 中央銀行が金利を現状で維持すべき根拠は？
- 最終決定は？
- 決定を成功に導くための要因は？

各チームは、政府のインフレターゲットである3.6%を達成するために実際の利率を発表することを求められました。生徒は15分間のプレゼンを行い、学校スタッフが審査を行いました。審査員は生徒にプレゼンの内容や経済状況の解釈についての質問を行いました。

各グループ（チーム）のメンバーです。

- **Sujin、Ishaan、Shreeya、Sidaarth**
- **Mika、Ethan、Kevin、Sneha**
- **Shreya、Shirley、Preston、Malini、Dharmik**
- **Noah、Riju、Leah、Michiko**

プレゼンテーションは11月17日に行われ、South African Reserve Bank（SARB）は金利は現在の3.5%で維持するという決定を発表しました。

すべてのグループが同じ、そして正しい答えを選択しました。皆、よくやりました！その中でこのコンテストの優勝決定は、どのグループの説明に説得力があったかという点に焦点が当てられ、候補はSujinと、Michikoのグループに絞り込まれました。どちらにも良い点が多くあったため、決定は非常に困難なものでしたが、最終的に最も信憑性のあるデータを収集し、COVID-19による影響を考慮し、国にとってもっとも有効な金利を発表したグループが優勝しました。

Michiko、LeahそしてNoah、おめでとう!

Edwin Gombya
DP Economics Teacher

Noah（G12B）、Michiko（G12A）そしてLeah（G12A）

Design@KIST

今年に入ってからMYP生がDesignの授業で取り組んできたことをご紹介します。

Timothy Smith
MYP Design Teacher

This article was translated by Waka (G9A).
この記事は G9A Waka が翻訳しました。

Grade 6、Unit 1...

Digital citizenship

G6生は下級生のために、SNSを使う長所と短所を説明したdigital citizenshipポスターを作りました。

大人の皆さんにとっても素晴らしいアドバイスかも？

Grade 7、Unit 1...

Tシャツデザイン

生徒はG7キャンプで着るTシャツについてリサーチとデザインを行いました。デザインのテーマは森林保護で、生徒はそのためにできることをTシャツのデザインに含めました。また、デザインだけでなく、様々な印刷技術についても学びました。

白いTシャツの画像ファイルが生徒に一つずつ配られ、彼らはAdobe Spark Collageを使ってTシャツのデザインをしました。Lossless png画像はその後、Adobe Photoshopのdisplacement mapを使ってTシャツの表面らしくしわ加工され、最後に背景の光や影を加えて完成となりました。

Noritaka (G7A)による
Tシャツデザイン

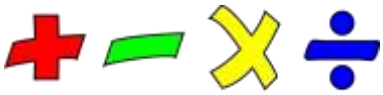
Grade 7、Unit 2...

ロボット版馬上槍試合(RoboJousting)

現在のユニットでは中世騎士や馬をレゴで作り、馬上槍試合ならぬロボ槍試合に向けての準備をしています。ロボットにプログラムを組み込み、学年全員が参加する試合が12月に開催されます。

これまでは、他校とのロボ槍試合をKISTで主催していましたが、残念ながら、新型コロナウイルスの影響で、今年はG7が参加する校内試合のみ実施されます。

数学診断テスト



G6～G10を対象とした数学診断テスト（Mathematics diagnostic tests）が2021年1月22日に実施されます。

この機会に、数学診断テストとセカンダリーでのクラス分けに関して、皆様から頻繁にお受けするご質問についてお答えしたいと思います。

診断テストの目的は?

診断テストの結果は数学のクラス分けに使われているだけではなく、生徒の進歩を測るためにも使われています。数学科では試験結果を分析し、特定の傾向がある場合、生徒が数学でさらに向上できるよう、サポート方法や授業について対策を講じます。

クラス分けはどのように決まるのですか?

Semester 2の数学クラスは8月と1月の診断テスト結果と、クラスでの成績、数学教師の推薦をもとに決定します。クラスを決定するにあたって、数学科が最も重視するのは直近のテストである1月の結果ですが、その他に学期末試験や単元テストの結果なども考慮します。KISTではより全体的で、バランスの取れたアプローチをとっているため、過去問のみを解くことで診断テストの高得点を目指している生徒がExtendedクラスに在籍し続ける、あるいはExtendedに移動することはできない可能性があります。

いつまでStandardからExtendedへの移動が可能なのですか?

StandardからExtendedに移動する最後の機会はG8のSemester 2の始めまでです。これ以降はExtendedへの移動はできません。この理由は、G8のSemester 2の時点ですでにIGSCE Mathematics Bのカリキュラムを履修し、G9の5月にはIGCSEの公式試験を受験するからです。G9から移動した場合、試験に対するしっかりとした準備を行う時間が足りないと判断しています。

生徒は診断テストに出題される内容をすべて学習しているのですか？

診断テストにはKey Stage 3/IGCSEの過去問を使用しています。これらテストは他の学校でもコース終了時（Key Stage 3はG8、IGCSEはG10の終わり）に受験するものです。ですので、テストでは生徒がまだ学習していない内容も含んでいます。

テスト範囲のすべての内容を学習していない状態で、KISTの期待値に到達することはできるのですか？

学校の期待値は、生徒が学んだ内容の大半をテストで回答できればよいように設定されています。

診断テストで、未習の内容を削除せずにいるのはなぜですか？

卓越した数学力を持っていたり、未習分野を自分から学ぼうとする熱意ある生徒が自身の知識や能力を発揮する機会を提供するために、故意にこれらの問題を残しています。

すべての生徒及び保護者の皆さんに今一度KIST Performance Expectations: Mathematics以下リンクからアクセスできる数学の文書（ログインが必要です）をご確認いただくき、1月の試験に向けた目標を設定されることを強くお勧めします。

Web Progression Criteria and Graduation Requirements

Happy studying!

Nanami Sakuma

科学科ニュース

DPでの実験と探求

コミュニティの皆さんは、DP生がこの数年間順調な実験成果を上げており、特に昨年度、最終成績がIA（内部審査）のみで算出された際のPG（予想点）が学校の歴史に残る高成績であったとお聞きになったら、私たち同様に大いに喜んでくださることと思います。

しかし、そもそも科学やESSにおけるIA（内部評価）とは何でしょうか？そこで生徒は何を達成することを求められているのでしょうか？IAは生徒にとって必須の実験課題で、KISTの科学教師によって評価された後、IBによって調整（評価のチェック）が行われます。ここで重要なのは、生徒が筆記試験の制限された環境下では行えない、**自身のスキルや知識を応用する機会や、個人の興味関心をさらに深めることを許されるということです。**

G12の化学履修生は化学のIAを終えたところです。そして現在のコロナ禍においても意義深い探求を成し遂げました。現在、生物とESS履修生のIAが進行中で、その後、物理履修生のIAも控えています。

このようなIAについて卒業を控えているG12の生徒から以下コメントが寄せられています。もしG12の生徒にあったら、興味深い実験の数々について是非聞いてみてください！

Cesar Cely
Subject Area Coordinator—Science (Secondary)

"酸と塩基が化学の中でも、私のお気に入りのテーマだったので、IAでもこの分野の探求をすることにしました。テーマは、発酵温度の差が、私の家族が毎日食べているザワークラフトの乳酸濃度にどのような影響を及ぼすか、です。母が乳糖不耐症であることもあり、このIAは私自身の化学の知識を母を助けるために使える良い機会となりました。IAの主な目的は母を助けたいということでした。長い時間実験室にこもり、微調整を行い続けることになりましたが、IAは私の科学的知識欲をしっかりと満たしてくれるものでした。今回の経験は教科書の知識を超え、化学の神秘に触れることができたものでした。」
—**Leah** (G12A)

"今年は、世界で調理のために使われているオイルの不飽和度について調べることにしました。不飽和脂肪は「健康的である」と考えられており、この研究の結果は私が日常で使える知識を得る手助けとなりました。その過程には色々と紆余曲折がありましたが、この1か月に成し遂げたことを誇りと安堵を持って振り返ることができます。化学は「難しい」教科として知られていますが、知的好奇心と意欲を持って向き合えば、とても得るものが大きい教科でもあると思っています。」
—**Ishaan** (G12A)

次のページに続く

前ページの続き

「化学のIAでは異なる色のサイリウム棒、いわゆる「光り棒」のエネルギー量について探求することにしました。しかし、光り棒が光る理由は私が思っていた以上に興味深く複雑なものでした。実際の実験にとりかかるまで少し時間を要しましたが、実験自体はどんどん簡単になっていきました。IAの終わりには、たのしいおもちゃの裏側にある化学を学べたことに大満足しました。」
—**Sneha** (G12A)

「pHが豆の生育にどのような影響を及ぼすかについて調べました。前半は主にサンプル採取と実験環境を整えることに終始しました。溶液のpHを変えているため、それ以外の要因に変化がないように調整することに最も労力を費やしました。それが達成できた後は、サンプルに適切に水やりをしたり観察することでした。結果的にはこのような実験は成功するか失敗するかの二つに一つです。そのため予備実験が重要になります。当初期待していた実験結果は得られませんでしたが、植物の生育に関する物理的な結果には満足しています。」
—**Dong Hee** (G12B)

Seven Golden Rules

01 02 03 04 05 06 07

IGCSEやDP科学の試験を乗り越えるヒント

1. いつでも、常に、必ず、設問を正しく読み取ること

例えば、設問で、state述べてexplain説明しなさいとあった場合、必ずその通りにしましょう。また、mmで回答するようにとあった場合にcmで答えてもいけません（単位を正しく書きましょう）。

2. 途中式をしっかり書く

しっかりと順番を踏まえて書き出すと、間違えにくいです。また、最終的な答えが間違っていたとしても、正しい方法にのっとって答えていることが教師に伝われば、途中点をもらうこともできます。正しい単位で式を書き出すことも必要です-電卓をたたく前に単位をしっかり確認しましょう。

3. 質問の配点を確認する

配点を見れば、どのくらい答えを書けばいいかのヒントになります。配点が4点だった場合、4つは答え・根拠を書きましょう。また、1点の問題で小論文を書くことはありません。時間の無駄です。

4. 専門用語を使う

授業で必要な用語は学習したはずです。しっかりと専門用語を使いましょう！教師はこれが大好きです。

5. できるかぎり丁寧に書きましょう

教師が答えを読めなければ、たとえ正解であっても点はもらえません。

6. しっかりと準備をして、慌てない

試験の日は緊張するものです。試験に必要なものは全て前日の夜までに準備をしておきましょう。しっかり朝食と睡眠をとり、リラックスするよう努めましょう。

7. 時間を意識する

問題用紙をいつまでも眺めていてはいけません。どうしてもわからない設問はとばして次に進みましょう。時間が余ったら戻って解けばいいのです。

これらのゴールデンルールに従うことで、可能な限りの点を獲得することができるでしょう。ただし、このルールはしっかりと必要な知識を身に着けて初めて役立つものです。なので、まずはしっかりと復習し、演習問題に取り組んでください。

Cesar Cely
Subject Area Coordinator—Science (Secondary)

運動部最新情報

2020年 秋シーズン

Kanto Plains cross country

新座でのMS女子クロスカントリー

新座でのMS男子クロスカントリー

COVID-19にも関わらず、今シーズン、KISTでは32名のランナーが参加しました。JV男子8名、JV女子3名、MS男子15名、MS女子が6名です。今年、KIST生は世界中のインターナショナルスクールの選手が集う初の「バーチャルレース」に初参加しました。高等部生はシーズン終盤の砧と味の素スタジアムでの2試合に参加し、中等部生は新座での最終レースに参加することができました。多くが自己ベストを記録したこのシーズンは実り多いものでした。おめでとう！

味の素スタジアムでのJV
クロスカントリー

以下卓越したパフォーマンスを示した生徒です。
JV Boys: JVファイナルで50名中11位となった**Daigo**（G11B）と、15位の**Shin**（G10A）
JV Girls: 13位の**Tomoko**（G10A）
MS Boys: シーズンベスト5位と6位となりオールスター（トップ10）入りをした**Shota**（G8B）
MS Girls: 5位の**Arista**（G6B）と8位の**Riko**（G6A）はどちらもオールスター（トップ10）入りをしました

貴重なお時間を割いてくださったコーチCobbs、ThomasそしてBuckに大きな感謝を捧げます。

ISTAA U-18男女バレーボール

バレーボールチーム

高等部バレーボール

COVID-19のため、KISTバレーボールチームは通常より3週間遅れの始動となりましたが、それでもColumbiaとBSTとの試合を行うことができました。男女とも接戦の果て、Columbiaには敗北を喫しました。女子はBSTを2対0で下し、男子は2セット同点という結果でした。

長期にわたってKISTバレーボールチームに貢献してくれた以下生徒に大きな感謝を贈ります：Saki（G12B）、**Izumi**（G12B）、**Alia**（G12B）、**Sidaarth**（G12A）、**Den**（G12A）と**Min Seung**（G12B）、**これまで本当にありがとう!!**

Kanto Plains varsity男子テニスチーム

男子テニス

全ての学校でCOVID-19 安全対策が取られる中、テニスというスポーツの性質上、KPASS HSテニスの実施が許可されました。もちろん通常よりも規模が小さいものではありましたが、KISTの他にASIJ、St. Mary's、CAJ、YISが参加し、試合が行われました。KISTはこれらのうち3校と試合を行い、そのなかでも強豪のCAJとYISと対戦し、どちらも3対2で惜敗しました。特に、**Noah**（G12B）と**Abhinava**（G12B）はシングルスの試合でどちらも2勝をあげました。シーズンの最後を飾るトーナメントは11月中旬にASIJとSt. Mary'sで行われ、生徒はシングル、ダブルスに出場しました。多くがG9で構成されているKISTチームにとって、G10やG11と対戦する試合は不利なものでした。しかし、NoahはKPASS男子シングルスで準決勝まで進み、トーナメントに出場した最強選手にのみ敗戦しました。

KPASS
オールスター、
Noah（G12B）

テニスでKISTを代表した11名の選手の皆さん、よく頑張りました。次のKPASSシーズンは来年の9月ですが、KISTでは来春から次のシーズンに向けてHS男子チームの試合を再開する予定です！

Coach Cowe

冬季チームも通常より数週間遅れて練習を開始しました。今のところ予定されている試合は12月に1つと1月に2つ予定されているKanto Plains JV男子サッカーのみです。その他にはKanto JV女子サッカー、ISTAA HS男女バスケットボール、Kanto（&ISTAA）MS男子バスケットボール、Kanto MS男子野球部の活動を予定しています。

Dennis Ota
Athletics Coordinator

図書室ニュース

LMCニュース

図書メディアセンター（LMC）はG9～12を対象に始業前と放課後に開室しています。

LMCでのCOVID-19感染防止対策

最近COVID-19の第3波により感染者数が急増しています。生徒の安全のため、LMCでは以下対策を行っています。

- 全ての生徒は口と鼻を完全に覆うマスクの着用が求められます
- 図書スタッフは生徒が図書に触れる前と後に手指消毒を求めます
- 図書の貸し出しや資料の利用の人数を制限します
- ソーシャルディスタンス確保のため、生徒にはメインエリアでの着席を推奨し、奥の学習室では一つのテーブルに2名までの着席を求めます。
- 生徒には着席前に、LMCに設置されている除菌スプレーでのテーブルの消毒を強く推奨します

新しいラップトップ（PC）システム

今年度からLMCに新しい貸し出し用ラップトップが設置されています。安全対策と効率的な充電のため、生徒にはコンセントを床にたらしたままにしないよう指導しています。

雑誌の定期購読

生徒に書籍やオンライン資料以外の参考資料を提供できるよう、KISTでは人気のある、最新の情報を取り扱っている雑誌を取り揃えています。これらの雑誌ではクラスのプロジェクトや評価課題にも役立つ時事問題や最新の技術などの情報が満載です。図書チームは生徒やスタッフが週末や休み時間、放課後などにこれら雑誌に目を通すことをお勧めしています。

現在、以下の雑誌を定期的に購入しています。

The Economist – 時事問題やビジネス、テクノロジーなどをあつかっている週刊雑誌

Wired – 文化、経済、政治に影響を与える信仰技術について特集する月刊誌

National Geographic – 主に科学、地理、歴史、世界の文化についての記事を掲載する月刊誌

Scientific American – 様々な科学的発明、新興技術、科学、著名な科学者や研究者についての記事を掲載する人気の月刊誌

CDQ – デザインや美術についての専門的な知識や啓発的なキャラクター、アニメーター、アーティスト、イラストレーターなどの情報を提供する季刊誌

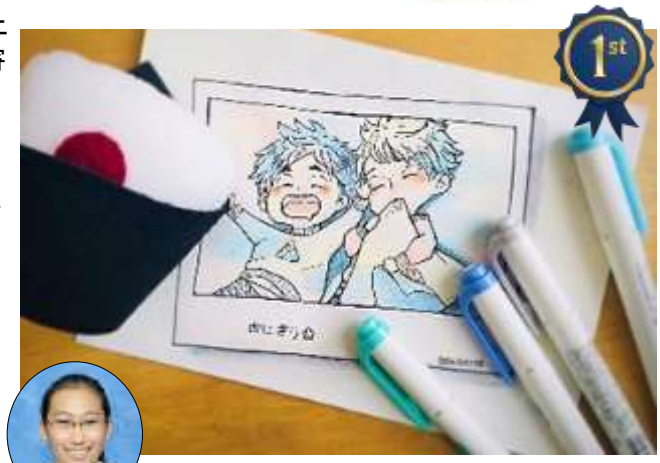
LMC Team

セカンダリーSRC

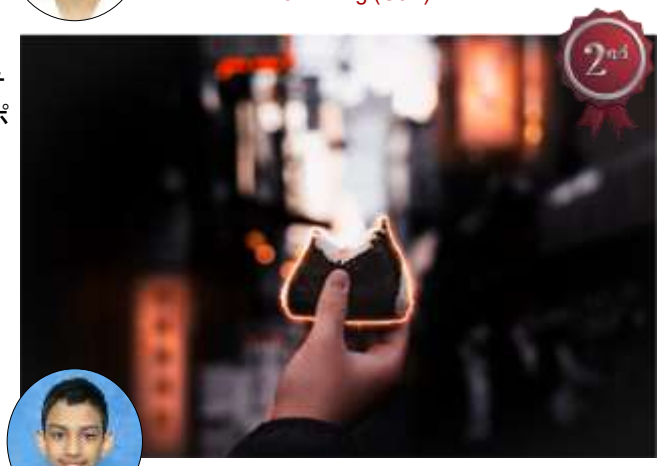
SRCにとって、ここ数ヶ月は非常に効率的な活動をすることができました。主なプロジェクトは、スタッフ感謝デーの開催です。これは、生徒が教師とオフィススタッフに小さな感謝の手紙を渡すイベントです。このプロジェクトは、生徒の参加と支援により大成功を収めました。全生徒の支援に大変感謝しています。

また、心の健康を支援する団体であるTELLと提携し、生徒が助けを求めている時に連絡できるようになったことをお知らせします。

10月23日（金）には、フリードレスデーがありました。10万円以上の募金が集まり、収益の50%がセカンドハーベストジャパンに寄付されるという、素晴らしいイベントとなりました。さらに、SRCメディアアーツ委員会は、おにぎりアクションコンテストの結果を発表しました。SRCは生徒に、おにぎりの写真を撮影、送付するように頼み、それをTable For Twoに送りました。これは、写真1枚につき5食を恵まれない子供達に寄付するチャリティーです。70枚以上の写真が送られ、360食を提供することができました。KISTでのコンテストの優勝者3人には、アマゾンギフトガードが贈られました。右側にあるのが受賞者とそのおにぎりの写真です。



Jia Hang (G9A)



Shreyas (G9A)

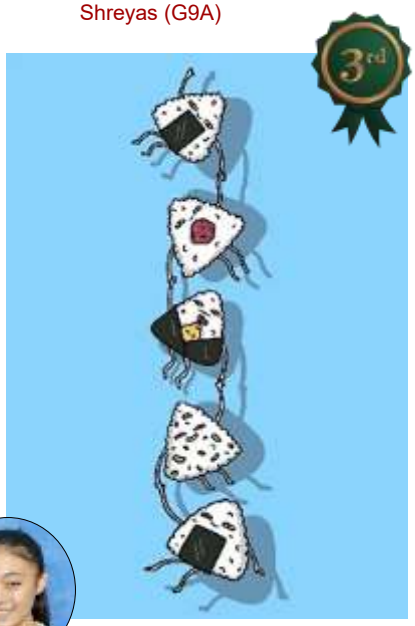
そして、校内の備品の取り換えなども行いました。例えば、生徒が楽しんでいる、ブラックトップのバスケットボールのネットの取り換えなどです。生徒からは、好評価を得ることができました。

最後に、生徒の学校生活をより豊かにするため、学校のカフェテリア脇にSRC掲示板を設置しました。掲示板には、生徒によるポスターやアート作品が掲示されます。

SRCメンバー、掲示板の近くで

これまでの進捗状況には非常に満足していますが、まだまだ多くの計画があり、近いうちに皆さんと共有できることを楽しみにしています。

皆様、健やかに実り多い新年をお迎えください。



Anya (G12A)

SRCを代表して、

Ravi (G12B)
Public Relations Officer

This article was translated by Tomoko (G10A).
この記事は G10A Tomoko が翻訳しました。

セカンダリーELS

英語教材

すべてのKIST生をサポートするため、ELSでは学校コミュニティの皆さんにお使いいただけるよう、新たな教材の取りまとめを行いました。PowerSchool Learningの'Extras'の下にある*English Language Resources*は英語学習者が頻繁に直面する文法の疑問にお答えするためのガイダンスが豊富に設けられています。

English Language ResourcesはKISTコミュニティメンバーの方であればどなたでもアクセスしていただけ、ELS部門によって定期的に更新されます。現時点では文法中心ですが、今後は生徒や教師の意見を踏まえて他の分野の教材にも手を広げていきたいと考えています。

もちろん人によるサポートには及びませんが、これらの教材は生徒が個々のニーズに応じて英語や文法の理解を深めていけるようにまとめられました。特定の分野の教材を希望する生徒や教師の皆さんは是非私にメールでお知らせください。

Jade Bonus
Secondary ELS Coordinator
jade.bonus@kist.ed.jp

Staff 10!

今月の*Staff 10!*,では2018年1月にスクールナースとしてKISTの一員となった**Yukiko Yamazaki**をご紹介します。

---

1) 出身地について面白いことを教えてください。
あきる野市は清澄白河から西に約60km離れた所にあり、通勤時間は毎日4時間ほど要します。あきる野市はハイキング、釣り、バーベキューや温泉が楽しめる場所です。私は都会より田舎の郊外に住む方が好きです。庭に沢山の種類の果物(キウイフルーツ、ぶどう、ゆず、柿)があり、夜中にタヌキが庭に来てブドウを美味しく食べその翌朝、庭を見ると狸からの大きな茶色のプレゼント？が庭にありました。☺

2) 世界で一番好きな場所はどこですか？
メルボルンです！私が30代の時に英語と看護を学びに8年間住んでいました。メルボルンは世界で10番目に移民が多く住む町で雰囲気の良い世界各国のカフェや美味しいレストランが沢山あります。

3) どこに出かけたいのですか？
今まで沢山の遺跡巡りをしていますがその中でもエジプトの紀元前に建てられた遺跡は興味深かったです。世界最大のグランドエジプト博物館が2021年に開館予定なのでコロナが終息したら訪れたいです。

4) 何か特別なスキルやタレントをお持ちですか？
13歳から手相を勉強し、今まで1,000人以上の手相を見ました。しかし人の不幸が見えてしまうとストレスを感じるので今は鑑定を止めました。

5) 子供のころに夢見ていたことは？
動物の世話と動物園に行くのが大好きで将来はサファリパークか動物園で働くのが夢でした。

6) なぜ看護師になったの？
幼少期から学校の保健委員に興味があり中学、高校は保健委員会の活動を熱心に取り組んでいました。また夏休みに病院で看護体験の機会があり、体験を通して看護は自分にとってやりがいのある仕事になると実感しました。

いつでも元気で健康な
Nurse Yukikoが更なる高みを
目指してクライミング中

7) 看護師になって難しかった経験は？
自分が担当していた患者さんとその家族が治療を断念し自然な形の死を選んだ時です。その頃は若く看護師としても人生経験が少なく患者さんのクオリティーオブライフや家族への精神的なサポートもできませんでした。

8) あなたはどのIB学習者像を身近に感じますか？その理由もお聞かせ下さい。
Caring(思いやりのある人)。人の喜びが自分の喜びにもなる典型的な世話好きな看護師(人)だと思います。しかしもう少し挑戦する姿勢と深く考え反省する力が必要だと思います。

9) あなたにとって至福の時は？
ヨガをしている時です。私にとってヨガにはその時に抱えているジレンマを解消し前向きなエネルギーを与えてくれるからです。

10) チャンスがあったら会ってみたい人は誰ですか？その理由を教えてください。
ベテラン俳優の佐々木蔵之介さんに会いたいです。彼はマクベス日本版を一人で20人の役を演じきっており大きなプレッシャーの中、どの様な精神力で乗り切ったか話が聴けたら嬉しいですね。

保健便り

今年の冬(2020～21)を安全で健康的に過ごすには

冬に突入する中、風邪、インフルエンザやコロナウイルスなどの感染症拡大に不安を感じている人も多いと思います。今年の冬はチャレンジの年になりそうですが皆さんが感染予防と体調管理を心掛けることで感染から身を守りこの冬を乗り切ることを願っています。

感染対策

周りに人がいる時のマスク着用の習慣: マスクの着用は幅広い場面での感染対策として有効です。

こまめな手洗いの習慣: 病原菌除去に一番有効な方法は石鹸による手洗いです。よく泡立てた石鹸でしっかり手の甲、指の間、爪の間も擦り少なくとも20秒かけて洗い温水で流しましょう。

手指消毒の習慣: 水や石鹸が無い所では、除菌タイプのアルコールによる手指消毒も有効的です。しかし手指消毒は、汚れを落としキレイにする働きはないので注意が必要です。

家庭での消毒の習慣: テーブル、ドアノブ、リモコンスイッチなど身の回りの物の表面の消毒も家庭内感染防止に有効です。

目や鼻や口を触らない: 指先など手は色々な物に触れることが多くウイルスが付着しやすいです。汚染された手で顔や目などに触れるとウイルスを自分に運ぶことになります。

3密を避ける(密閉された場所、混みあった場所、人と人の距離が近い状態): こまめな換気で密閉状態を避け、最低でも1時間に2回は窓を対角線上に二方向で開放し数分程度でも換気を行いましょう。またソーシャルディスタンス(他者と1メートル程度の間隔)も保ちましょう。人と向かい合って座る場合は正面を避け、対角線上に座りましょう。

インフルエンザ予防接種を受ける: 最近の研究ではインフルエンザワクチンが40～60%程度インフルエンザリスクを下げる報告がありました。またインフルエンザとCOVID-19の症状(発熱、咳、咽頭痛、倦怠感など)は似ており判断がしにくいので病院受診し医師による診断を受けることを勧めます。また体調不良時は家にいましょう。

健康的な生活

ヘルシーな食事で免疫力アップ: ヨーグルトなど発酵食品はプロバイオティクスが豊富に含まれ腸内環境を整え免疫力を上げてくれます。また野菜、果物、油を抑えた食事や全粒粉も腸内環境に良い食品なので積極的に摂取しましょう。

こまめな水分補給: 寒い冬場は夏に比べると喉の乾きを感じづらく水分不足に陥りやすいです。脱水状態になると気道粘膜の機能が低下しやすく感染しやすい状態になります。

十分な睡眠: 適切な睡眠時間の確保は免疫力アップに有効です。逆に睡眠不足だと体の抵抗力が低下し感染しやすい状態になりがちです。

体を動かし活動的に過ごす: 冬場に運動習慣を身につけるのは少し挑戦的ですが適度な運動、体を動かすことは免疫システムが上手く働き気分転換にも役立ちます。

日光にあたる: 屋外で1日10～15分程度日光を浴びるとリラックスホルモンが生成されます。また骨の強化に重要なビタミンD も作られます。

体調不良であれば早めに病院を受診する: 病院に出かけることで感染リスクを恐れるあまり受診を避ける方もいますが、それが逆に体調の悪化や危険リスクを高める結果になることがあります。

専門家による精神的なサポート: コロナウイルス感染症拡大は人々に身体面だけでなく精神的な影響も与えます。ストレスや不安を感じるのは自然なことで誰にでも見られる反応です。その感情が生活の全てを支配してしまうのであれば専門家のサポートを受けることが助けとなります。

Yukiko Yamazaki
School Nurse

参考資料:

- Johns Hopkins Medicine: Flu prevention during Coronavirus pandemic. (November, 2020) Retrieved from https://www.hopkinsmedicine.org/Health/Conditions-and-Diseases/Coronavirus/Flu-Prevention-And-Coronavirus-Infographic

大学ガイダンスニュース

奨学金

KIST 2020年度卒業生の獲得奨学金総額が1億円に！
KISTでは生徒の高いIB点数を非常に誇らしく思っています。これは学校の高い学力を誇示するためではなく、もっと**重要な目的**、生徒の今後の教育にもたらす利点のためなのです。この利点は10月からの現G12の大学合格にも反映されています。また、それだけでなく、彼らの奨学金獲得という点にも表れています。昨年の卒業生へのアンケートで、彼らがは総額**102,163,000円にもなる37の奨学金を獲得した**（そして今でも獲得し続けている）ということが判明しています。Amazing job Class of 2020年度卒業生の皆さん、これは素晴らしい実績です。おめでとう!

奨学金について

IB校での高得点獲得には**多くのメリットがあります**。IBのカリキュラムが提供する幅広く、奥深い教育内容は世界中の大学から信頼されています。例えば上位校であるHong Kong University of Science and Technology（HKUST）ではIB生を対象とした**奨学金を提供**しています(以下表をご覧ください)そしてその奨学金は他の国際カリキュラムを対象としたものより高額です。

IB Total Points	Scholarship Amount for Students Admitted in the 2021/22 Academic Year
45	*Full tuition plus living allowance of HKD55,000* p.a., renewable for normative duration of study
42-44	Full tuition, one-off*
40-41	Half tuition, one-off*
38-39	HKD15,000, one-off*
36-37	HKD10,000, one-off*

IBでは世界中のIB卒業生を対象とした50の奨学金リストも公開しています。

将来を見据えて

KISTでは卒業生の成功のために、少しでも多くの奨学金を獲得する方法を模索しています。これには教師、保護者、生徒という関係者全員の協力が不可欠です。**以下にご家庭でしていただけることをまとめました。**

KIST Scholars' Awards（KIST特待生奨学金）

これは**KIST内部の奨学金**です。在校生の大学進学の際にも有利となるものです。IB最終試験の点数が40点以上の生徒が対象です。

***ご提案:** 毎年（G11～12だけでなく）のクラス・教科の成績に集中しましょう。学校の成績はSATやTOEFLのスコアより大切なので、これを優先しましょう！

国際的な奨学金の検索

奨学金は世界のほぼすべての国で提供されています。何千もの奨学金が存在するので、自身の背景や出願したい地域などが大切になります。**internationalscholarships.com**のようなウェブサイトから比較的有名で、国際的な奨学金を検索できます。**US News**からも奨学金情報が検索できます。日本に残ることを考えている場合は**JASSO**や**JPSS**がお勧めです。

***ご提案:** 生徒は課題や試験で時間を取るのが難しいと思います。ご家族でふさわしい奨学金を探すことができれば、全員にとって有益だと思います。**奨学金はすべての人に開かれています**。ですので、一部の限られた生徒のためのものではないのです。

大学が提供する奨学金

一番簡単なのは大学が直接提供している奨学金を探すことです。この場合、たいていは期限までに奨学金の申請を行うだけで対象となります。多くの大学では奨学金情報のみのウェブページを設けています。検索の際はグーグルサーチなどで「大学名+奨学金」と入れるだけです。例えば、**UBCでは留学生のための奨学金 情報を大量に掲示しています**。

***ご提案:** G12になる前に志望大学のリストを作ることで奨学金探しがぐっと楽になります。Excelで志望校一覧を作成し、出願期限、奨学金申請期限などをまとめておくことをお勧めします。

高額・学費全免除奨学金

希少なものではありますが、KISTでは毎年数名がこの奨学金を獲得しています。昨年は学費全免除の奨学金が3つオファーされました。このような高額な奨学金を提供する大学のリストは**PrepScholar**などのサイトでで確認することができます。奨学金を含め、一番良い結果が得られたのはG12以前から下調べをしっかりして大学に出願した生徒たちでした。

***ご提案:** 主要な、いわゆる「王道の」進路以外も検討してみてください。 例えば、**私立の、超難関校ではなく、あまり人気のない地域の**大学の方がロンドンやニューヨークなどの大都市にある有名大学よりも高額の奨学金・経済支援を提供する傾向にあります。

最後に

***ご提案:** IB生であるということで、他のカリキュラムで学習している学生よりも奨学金の可能性が多く提供されています。しかし、お子さんに向いているものを探すのには時間がかかります。早めに準備を始め、以下を行うことでお子さんが奨学金を得るチャンスを高めることができるかもしれません。

1. **授業でしっかりと好成績を取るようにする。**学校の成績は大学入学や奨学金獲得に最も重要な要素です。
2. **早めに準備を始める。**出願したい国や大学が早く決まれば、それだけ早く奨学金獲得の準備も始められます。
3. **質問をする。**大学進学カウンセリングチームは皆さんのサポートをするために存在します。すぐに回答することができなくても、可能な限りすみやかにリサーチをしてお返事します！

Thomas Waterfall
University Guidance Counselor
thomas.waterfall@kist.ed.jp

卒業生の声

KIST卒業生Yui（2020年度卒業生）

Mr. Thomas: **今日はありがとう。2020年の卒業生のYuiさんですが、コミュニティに自己紹介をしていただけますか？**

Yui: Yuiといいます。私はG11でKISTに編入しました。KISTでの2年間のDPを終えて、カナダUniversity of British Columbia（UBC）の1年生としてコンピュータサイエンスとビジネスのダブルメジャー（2重専攻）をしています。

Mr. T: 楽しそうですね！なぜこれらを専攻しようと考えたのですか？

Y: 元々大学では、DPで一番好きな教科だった物理を学びたいと考えていました。でも、UBCの工学部への直接の入学許可が下りませんでした。第2希望がUBCの商学部、Sauder School of Businessだったのです。そこでコンピュータサイエンスとビジネスのダブルメジャーが可能な"BUCS"と呼ばれるSauderのプログラムについて知りました。700名中50名しか履修できない競争率の高いプログラムで、Sauder School of Businessで提供される唯一のダブルメジャーでもあります。

私は常にテクノロジーとビジネスの橋渡しに関心を持ち続けていて、高校時代もその思いは変わりませんでした。元々工学部を卒業した後はこの橋渡しをできるようなことをしたいと考えていたのですが、このダブルメジャーによって、学部時代からビジネスと科学の両方の視点からのアプローチが可能になりました。

Mr. T: 大学への出願についてですが、UBCは第1志望ではなかったそうですが？

Y: そうです。実際に他の大学を不合格になるまでは真剣に入学を考えてもいなかった滑り止めのうちの一つでした。

Mr. T: 出願した他の学校からの不合格通知という事実をどのように乗り越えたのですか？

Y: 入学を希望していたUSの一流校のほとんどから不合格通知が届きました。とても辛かったです。不合格やコロナ、ずっと家にこもっている日々は本当に厳しいものでした。自分自身が大学にふさわしくないと、私個人が拒絶されたように感じていました。

さらに、私が自分自身に課していた期待と、家族、先生方、そして同級生からの期待です。KISTでは多くの先生や大学進学アドバイザーに意見を求めました。出願にあたって間違った判断をしたとは思いません。ですのでいわゆる挑戦校のうち少なくとも1～2校には合格すると思っていました。これが叶わなかった時はとても苦しくて、不合格から1か月以上経ってもずっとこの辛さを感じていました。

けれど、その後、私が出願した大学はどこも最難関で、合格率5%以下の所もあったことに気付きました。視野が狭すぎたのかもしれません。私が「滑り止め」と考えていたUSの大学ですら、昨年の合格率が1桁の所がありました。今思うと、私が「滑り止め」と思っていた大学は実際は全くそうではなかったのです。私が入学したUBCのプログラムも合格率は10%程度でした。

Mr. T: 大変な中、誰にサポートを求めたのですか？

Y: 家族のほかに大学進学カウンセラーや先生方が不合格の事実を受け入れる支えになって下さいました。皆で私が物事を論理的にみられるよう支えて下さり、固まっていた気持ちを少しずつ動かし、素晴らしい大学であるUBCをあるがままに見られるように手助けをしてくれました。最も重要だったのは、私が、すべての人に与えられるわけではない素晴らしい体験を得ているのだと気づかさせてくれたことです。これは私の考えを大きく変えてくれました。物事を前向きにとらえられるようになったときに、やっと、入学できなかった大学とそれによって失われたことでなく、今の大学で何ができるかを考えられるようになりました。

Mr. T: ご家族や先生たちがあなたを支えてくれたと聞いてうれしく思いますが、他の生徒はどうだったのでしょう？

Y: 最初は同級生に不合格になったこと

を話すのは難しかったです。みんな私がいわゆる有名校に入ると思っていたと思いますし、私自身その期待を感じていましたから。ですので、長い間話すことができませんでした。やっと話す決意ができたときはとても驚きました。みんなとても前向きな意見をくれましたし、これまで私がしてきた良いこと、素晴らしい実績を思い出させてくれ、今の大学への合格を喜んでくれました。

友人に相談することをためらわないでください。皆、何があっても味方でいてくれます！すべてを一人で抱え込まないでください。周りからのサポートのおかげでUBCでのダブルメジャーを申請する自信を持つことができました。夏休み中にこのプログラムへの許可が下りたおかげで、気分も盛り上がりましたし、これまでの自分を取り戻せました。

Mr. T: 様々な感情を経てきたあなたから、KIST生にどのようなアドバイスがありますか？

Y: 良くない結果に不満を持つのは当たり前だと思います。思い通りにいかなかったことに感情的になることもあるでしょう。でもその事で思ってもいなかった別の道が開けることもあります。進路を定めた後は、その中で最善を尽くすことです。そうすることで今いるところが大切な場所になり、これまで見えていなかっただけで、他の進路では得られなかったより良い経験を積むことができるかもしれません。

Mr. T: やりたいことを見つけた後は充実した日々過ごしているようですが、バンクーバーのUBCキャンパスには行けていないのですよね？そのことについてはどう思っていますか？

Y: もちろん、新しい環境で1年次を過ごせないというのは大きな損失だと思っています。

次のページに続く

前ページの続き

学習面だけでなく、私生活においても世界中の学生が困難に直面しています。でも、授業については、私たちは誰も大学での講義を経験したことがないので、特に何かが欠けているという感覚はなく、簡単に順応できていると思います。

教授陣もテクノロジーに精通しているので、複数のカメラやインタラクティブボード、インタラクティブセッションなど、交流のために様々な方法を提示してくださっています。教授陣によって提供されたものはすべて生徒の意欲を高めていて、さらに、その気遣いによって歓迎されていることが伝わり、このような環境でも努力し、協力し合いたい気持ちにさせてくれます。

講義の80%以上がライブなのですが、録画された画像を見るタイプの講義では気づかないうちに遅れが出て、試験の時に慌てることがないようにペース配分に気を付けています。

私生活に関しては、キャンパスに行けていないので、新しい友人を作れていません。また、時差の関係もあり、教授との面談などの調整もなかなか難しいです。

Mr. T: バーチャルで新しい友人・同級生と会うことはできていますか？また、グループワークや学習会などはどのようにしているのですか？

Y: 最初は「オンラインだけ」でつながっている友人との関係は少し変な気もしたのですが、何回かオンラインセッションを行う中で、同級生から学べることも多いと感じるようになりました。東京に住んでいるUBCの学生と知り合い、直接会えるようにもなりました。現時点で大学生活というとこのくらいなのですが、様々な専攻の学生と多く知り合えることで学べることがたくさんあります。なんとなく、寮生活をしているような気持ちです。校内の廊下ではなく、同じ町にいるのですが、それでもつながっているということで、今のところ大学生活を楽しむことができています。

Mr. T: 大学生活以外で、今の状況を最大限に活用して、自分をより向上させるために取り組んでいることがあるということですが、詳しく教えてもらえますか？

Y: 主な学習以外では2つのことに取り組んでいます。一つは大学が始まった

THE UNIVERSITY OF BRITISH COLUMBIA

最初の週に加入したUBC BizTechクラブです。ここのtri-mentorshipプログラムに申し込みました。このプログラムでは、様々な分野の専門家や上級生から毎週キャリアや学術関係の話を聞けます。このおかげで私はZoomでオンラインミーティングをする機会に恵まれました。今は昨年のUBC卒業生でBUCSに所属していた方がメンターについてくださっていて、将来のためのインターンシップや進むべき分野や今の選考をどのように活かすかなどの相談に乗ってもらっています。彼女や他の専門家とお話しする中で2つ目の機会に恵まれました。

大学在学中に16か月間のフルタイム勤務ができるco-op programに参加します。ただし、このプログラムは大学2年次からのみ参加できるものです。COVIDの影響でカナダに行けず、未だ東京にいるため機会を失ってしまったように感じていましたが、メンターと話し、いろいろと考える中で、東京にいる利点に気付きました。なんといってもここには多くのインターンの機会があります！ですので、ここにいることを最大限に生かそうと考え、インターンの受け入れ先を見つけました。

Mr. T: そのような機会を東京でどのように見つけたのですか？

Y: 色々な方法です。知り合った上級生の紹介や、多くの選択肢がある求職サイトなどです。短期、長期、パートタイム、フルタイムなど様々な形態のインターンが多すぎるほど見つかりました。自分にとってもっともふさわしい形態のインターンは何かを決めるのが最初のステップです。そのあとは検索が少し楽になります。私はこれからリユース産業に関わる日本のベンチャー企業で、インターンとして日本の製品を海外に橋渡しをすることに力を尽くしていきたい思っています。

Mr. T: 最後に、同じような不安を抱えながら今年大学への出願をする生徒たちになにかアドバイスはありますか？

しっかりとコミュニケーションをとることがとても重要です。カメラをオンにして、笑顔を忘れず、主張することを恐れずに。結局のところ、それこそがオンラインを最大限に活用できる方法です。

手を伸ばして、助けを求めることを恐れずに。

オンラインを最大限に活用して学ぶのはあなた次第です。このような状況では簡単に孤立しがちですが、大学生活はたったの3～4年しかありませんから、無駄にする時間はありません。最初の1年が予定通りにいかなくても、できるだけのことをしてみましょう。50年後には私たちが「オンラインの第1世代」だといえる日が来るかもしれません。私たちは特別なのです！

Mr. T: Yui、貴重な時間をありがとう。日本であっても、大学のあるカナダでも、そしてその先のキャリにおいても、あなたの成功を祈っています。あなたがKIST卒業生であることを皆誇りに思っています。

Thomas Waterfall
University Guidance Counselor